

1. 評価結果概要表

平成 20年 8月 21日

【評価実施概要】

事業所番号	2072100312		
法人名	社会福祉法人法延会		
事業所名	グループホーム旧軽井沢		
所在地	長野県北佐久郡軽井沢町大字軽井沢222番地1 (電話) 0267-42-8631		
評価機関名	株式会社福祉経営サービス研究所 サービス評価推進室		
所在地	長野県松本市深志3丁目7番17号		
訪問調査日	平成20年8月21日	評価確定日	平成20年10月16日

【情報提供票より】(20年 8月 1日 事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 13年 4月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	6 人
職員数	13 人	常勤6人	非常勤7人 常勤換算6.06人

(2) 建物概要

建物構造	木造り	
	2階建ての	1.2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	27,000 円	その他の経費(月額)	13,000 円
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	無
食材料費	朝食	300 円	昼食 350 円
	夕食	350 円	おやつ 円
	または1日当たり		円

(4) 利用者の概要 (8月 1日 現在)

利用者人数	6 名	男性 2 名	女性 4 名
要介護1	1名	要介護2	1名
要介護3		要介護4	3名
要介護5	1名	要支援2	
年齢	平均 85.83 歳	最低 74 歳	最高 94 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	軽井沢病院・坂口医院・木家医院
---------	-----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは、法人の広大な敷地と自然環境(住居に居ながら森林浴が得られる)の中に設置され、居心地のよい住環境と経験豊富な管理者のした、職員と共に法人の基本理念「安心・信頼・喜び」を基に熱意を持って入居者のケアに当たられている。なお日常的に併設施設との連携を図りホーム機能の向上と改善に努められている。地域に根ざした福祉ニーズに応え、地域との関わりを大切に活動を広げてこられた母体施設と共に、行事や地域活動に入居者と積極的に参加されている。入居者が地域で暮らし続けるための基盤作りにより、地域密着型サービスの実現が図られ、入居者が住み慣れた地で安心と喜びを得て穏やかに過されている。また終末についても入居者・ご家族の意向に副った対応により、ご家族の安心に繋がっている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	ホームでは車椅子散歩を兼ねたゴミゼロ運動に貢献されており、重度化の入居者には職員が車椅子散歩の支援を行い、一緒にゴミゼロ運動に参加し、可能な社会参加への取り組みが行われ、改善が図られている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	サービス評価の意義や目的について全職員で話合われ理解し、具体的なサービスの改善に努められている。なお評価をもとにホーム理念の見直しと、地域の方々との共生に向けた取り組みに努めていかれる旨を伺った。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議には、ご家族・区長・民生委員・行政・ホーム職員の参加により定期的に開催されている。地域より要望のあった介護教室開催に向けて取り組みの提案があり、職員全員で話し合い、地域区民と認知症対応介護教室等が開催されている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	ご家族ホーム訪問時(面会時・家族会出席時・運営会議参加時等)に出された意見や要望・苦情・不安等に対し、職員全員で話合われ速やかにサービス提供に反映されている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	地域との交流を大切に、地域に根ざした福祉ニーズに応え、サービスの開発に努めてこられた。地域に密着した母体施設との連携を密にして、入居者と共に自治会・老人会・地域活動(ゴミゼロ運動)に参加し、地域の方々との連携を図られている。なお地域にホーム広報誌を回覧して情報の発信に努められている。

2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホームは社会福祉法人法延会を母体にもち、法人の基本理念である<安心・信頼・喜び>を掲げ運営されている。なおICFの考え方を基に、入居者一人ひとりが住み慣れた地域でその人らしく暮らし続けるための支援を理念とされている。		法人全体の理念を基盤にしつつ、地域密着型サービスとしての役割を目指した内容と具体的なわかりやすい内容で、ホーム独自の理念を職員全員で作らなければならないことに期待します。なお理念をご家族や訪問者(地域の方々等)に理解していただくためにも、掲示方法に一考されることを望みます。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念をホーム玄関に掲示してサービス提供前に閲覧できる体制と、管理者は日々のミーティングや職員会、グループホーム職員打ち合わせ会等の折に勉強会を開き、職員全員に理念の周知が図られ日常のケアサービスに活かされている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	母体は社会福祉法人として長い歴史を持ち、地域に根ざした福祉ニーズに応え、サービスの開発に努められ地域の方々との関係を大切にしながら交流を持たれている。ホームでは母体との連携を密にして入居者と共に自治会、老人会、地域活動等に参加し地域の方々との交流に努められている。なお地域にホームの広報誌を回覧して、理解を得る取り組みがされている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	サービス評価の意義や目的について職員全員で話合われ、具体的なサービスの改善に努められている。なお評価をもとにホーム理念の見直しを行うと共に地域の方々との共生に向けた取り組みに努めていける旨を伺った。		

グループホーム旧軽井沢

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議には、ご家族、区長、民生委員、行政、ホーム職員等の参加により定期的開催されている。会議では、外部評価の結果報告や現況報告、地域より要望のあった介護教室開催に向けての取り組みについて提案し、参加者より意見を拝聴されている。なお会議より得られた意見をもとに全職員で話し合い、ケアサービスの質の向上に取り組まれている。</p>		<p>運営推進会議への参加呼び掛けの際、入居者も参加メンバーに入れていただき、意見、要望の表出場面づくりを望みます。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議に市町村担当者が参加されたおり、議題解決に向けた確かな情報提供を頂く等、協働が図られている。(ボランティアの受け入れ、主治医の休日・夜間の対応の見直し、地域へ広報の発信、介護教室の見直し等)</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>ご家族がホーム訪問時(面会時、家族会出席時、推進会議参加時等)に入居者の現況報告、金銭管理状況等の報告が行われている。なお年3回発行されている「やまぼうし」により、ホームでの暮らしぶりが伝えられている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族会や運営推進会議において、ご家族が意見や要望を表出できる場面づくりが配慮されている。なお母体(静山荘)の広報誌「こもれび」等で投稿を受け付けている。ご家族より意見、要望が出された時には職員全員で話し合い、速やかにサービス提供に反映されている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>管理者は勤務経験より、職員交代による入居者への影響を十分理解されており、職員の異動を最小限に抑える配慮がされている。なお併設施設との連携により、馴染みの関係づくり後の異動を行う等配慮がされている。</p>		

グループホーム旧軽井沢

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修部会があり、年間研修計画に基づき、法人内外の研修に参加され、参加後には発表の場を設け研修報告により、全職員が共有する仕組みができている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域のグループホーム部会や宅老協会等との意見交換や地域密着型グループホーム研修を行う等同業者との連携が図られている。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居希望者やご家族による施設見学や体験入居(ショートステイ)、デイサービス利用により、他の入居者や職員、ホームの雰囲気の中での共有時間を過ぎた上で、人間関係を築かれ、入居者が安心してホーム利用ができる工夫がされている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>日常生活の中での食事づくりやおやつづくり等と一緒にいき、長い生活歴より得られた知恵袋から教えられるなど、共に支えあえる関係づくりに配慮されている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>アセスメントシートを活用し、入居者の希望や意向を把握すると共に、日頃の関わりや会話の中より思いの表出に努められている。常に入居者本位の生活が営めるよう配慮されている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>月一回開催されるグループホーム打ち合わせ会において、職員全員で意見交換を行い介護計画を作成し、入居者・ご家族への説明と同意が得られている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>現状に即した介護計画の作成にあたり、月一回のカンファレンスを行い、見直しが必要と思われる時には入居者・ご家族の意向を取り入れ、臨機応変な見直しが行われている。</p>		<p>入居者一人ひとりにそったきめ細かいケアを求められているグループホームでは、入居者に何ら状態に変化が見られなくても最低3ヶ月に一回の見直しが望まれます。</p>
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>入居者の通院時、ご家族が都合が付かないときにはご家族に代わって通院介助が行われている。また遠方よりのご家族の面会時に宿泊できる用意もされている。協力医との24時間体制が整っており、入居者・ご家族の安心が得られている。(入院回避・早期退院支援)</p>		

グループホーム旧軽井沢

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居者・ご家族の希望にそった医療機関での受診支援がされている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>入居者の希望にそったターミナル支援に向け、ご家族・主治医・職員と話し合いを持ち、方針の共有が図られている。なお入居者に状態変化がみられた時には、入居者・ご家族の気持ちや思いを大切に主治医との24時間体制のもと、支援が行われている。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>プライバシー確保に向けた研修により職員の意識向上が図られ、入居者の尊厳を保持しつつ入居者一人ひとりに合った言葉掛けに配慮されている。なお、個人情報に繋がる書類・記録簿についても適切な管理が行われている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>基本的なホーム生活の流れはあるものの、入居者主体の過ごし方に配慮され、馴染みの場所への散策や故郷訪問等も行われている。また入居者の状態に合わせた柔軟な支援も行われている。(貼り絵・ぬり絵・手芸・テレビ鑑賞・囲碁等)</p>		

グループホーム旧軽井沢

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者の重度化に伴い一人ひとりの力量低下もあり、食事の準備・調理・片付け等が行える方が少なくなっていることを伺った。しかし昔ながらの食生活や調理方法等を伺い食生活に関心を持って頂き、職員と同じテーブルで優しい支援を得ながら楽しい食事時間を過ごされている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入居者の希望にそった支援(ホーム個浴・併設施設の大浴場等)に努められると共に、重度化に伴いホームの個浴が困難な入居者には、併設施設のリフト浴(職員2名対応)を利用し、安全で楽しい入浴の支援が行われている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者の力量や過去の経験等を把握し、役割や楽しみごとの場面づくりに配慮した支援が行われている。調理の下ごしらえや食事の片付け等、役割を持った支援やレクリエーション・おやつ作り・貼り絵・折り紙・手芸・囲碁・季節行事の七夕祭りやクリスマスツリー作り等により、気晴らしの支援に努められている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近隣の公園や昔から馴染みの場所(旧軽井沢銀座通り)等への散歩や買い物外出により季節を感じると共に地域の方々との会話を楽しまれる等、入居者の希望にそった支援に配慮されている。なお庭掃除やテラスでのお茶会により気分転換が図られている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	訪問時玄関への施錠はなく、職員の寄り添いのケアによる安全で自由な暮らしへの支援が行われている。		

グループホーム旧軽井沢

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>消防署・地区消防団・民生委員・地域の方々等の協力の下、年2回(春・秋)の消防訓練を実施し避難方法について話し合いが持たれている。避難場所としての条件が整っている併設施設が地域の避難場所に指定されており、地域との連携が伝統的に図られている。</p>		<p>ホーム入居者の重度化が進む中、安全に避難して頂く為に再度地域住民と話し合いの上、ご理解を頂き、協力体制の構築による防災協定書の作成に期待します。</p>
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>入居者の身体状況や嗜好を把握されており、栄養士の献立により職員が交代で入居者と共に調理にあたり、バランスの良い栄養摂取ができるよう支援されている。なお水分摂取量についても配慮されている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>地域の方々やご家族が気軽に訪問できる開放的な玄関と、住居内に居ながらにして森林浴が味わえる自然環境の中、居間には季節の花やタペストリー・パッチワーク等が飾られ、居心地良く過せる工夫がされている。なお各所にソファや椅子が配置され入居者はゆったりと過されている。冬期には炬燵も設置されることを伺った。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居時に馴染みの生活用品やよりどころにされている品々(亡きご主人の写真等)が飾られ、居心地の良い環境づくりに配慮されている。</p>		

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票(様式1)を添付すること。